

○ 農業関係試験場の研究活動等実施状況

1 多分野連携研究（令和2年度）

試験場	課題名
農業試験場	水田畦畔除草管理機の開発と実用化推進
農業試験場	プレミアム果実生産を後押しするハンディ型熟度測定機の開発
農業試験場	IoTを活用したNAGANO WINE 栽培ネットワークの開発
野菜花き試験場	レタス収穫機の開発と実用化推進
南信農業試験場	市田柿剥皮工程のための自動判別・高精度位置決めロボット開発

2 民間企業、大学等との連携状況（令和2年度）

試験場	連携 課題数	連携機関数				
		大学	国研	他県	民間	計
農業試験場	9	4	17	73	7	101
果樹試験場	6	6	16	36	6	64
野菜花き試験場	18	20	35	89	32	176
畜産試験場	2	3	3	8	7	21
南信農業試験場	1	1	0	0	3	4
計	36 (45)	34 (45)	71 (80)	206 (280)	55 (62)	366 (467)

* 大学、国研（国立研究開発法人）、他県、民間、合計数は延べ数

*（ ）内は令和元年度実績

3 指導会・研修会等への派遣・参加実績（令和元年度）

試験場	件数	派遣人数	参集人数計
農業試験場	52	117	7,262
果樹試験場	56	162	2,760
野菜花き試験場	65	127	2,638
畜産試験場	37	70	429
南信農業試験場	35	141	1,350
計	245 (285)	617 (656)	14,439 (12,337)

* 件数、派遣人数は延べ数、

*（ ）内は平成30年度実績

4 試験場別現地試験実施状況（令和元年度）

試験場	現地試験 実施課題数	設置市町村数	設置箇所数
農業試験場	34	30	74
果樹試験場	34	16	38
野菜花き試験場	69	28	73
畜産試験場	8	7	9
南信農業試験場	6	7	14
計	151 (147)	88 (47)	208 (266)

*設置市町村数は実数。設置箇所数は延べ数。

*（ ）内は平成30年度実績

○ 普及に移す技術事項

1 令和元年度普及に移す農業技術*の内容（各技術の数）

部門別	作物	果樹	野菜花き	畜産	土壌肥料	病虫	合計
普及技術	4	2	1	2	3	0	12
試行技術	1	0	1	1	2	0	5
技術情報	3	6	10	2	5	9	35
農薬情報	5	0	0	0	0	37	42
合計	13	8	12	5	10	46	94

2 年度別の普及に移す農業技術（各技術の数）

年度	昭34 ～平18	平19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元
普及技術	3,307*	74	68	59	43	42	33	39	44	44	45	6	10	12
試行技術	—	7	27	26	17	15	13	17	6	11	10	10	10	5
技術情報	—	38	44	65	53	51	59	49	51	58	46	56	29	35
農薬情報	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	34	42
合計	—	119	139	150	113	108	105	105	101	113	101	93	83	94

※普及に移す農業技術

「普及技術」：新たな技術・品種として普及を図る農業技術

「試行技術」：普及技術とするには未解決の部分があるものの、生産技術の向上に役立ち、生産現場において試行する価値のある農業技術

「技術情報」：試験や調査で得た新たな知見で、生産技術の体系化には至らないものの、情報として参考となる農業技術

「農薬情報」：農薬効果試験（対象や目的を特定した農薬（殺菌剤、殺虫剤、除草剤、植物成長調整剤等）の効果（施用により生じる薬害を含む）を検証する試験）によって得られた農業技術。平成28年度までは普及技術に含まれる。

* 昭和34年度～平成18年度の「普及技術」のみの合計数

* 普及に移す農業技術については、農業関係試験場HP (<https://www.agries-nagano.jp/>) を参照